

令和4年度
第1回 奈良県渋滞対策協議会

【奈良県渋滞対策協議会の経緯】

令和4年9月

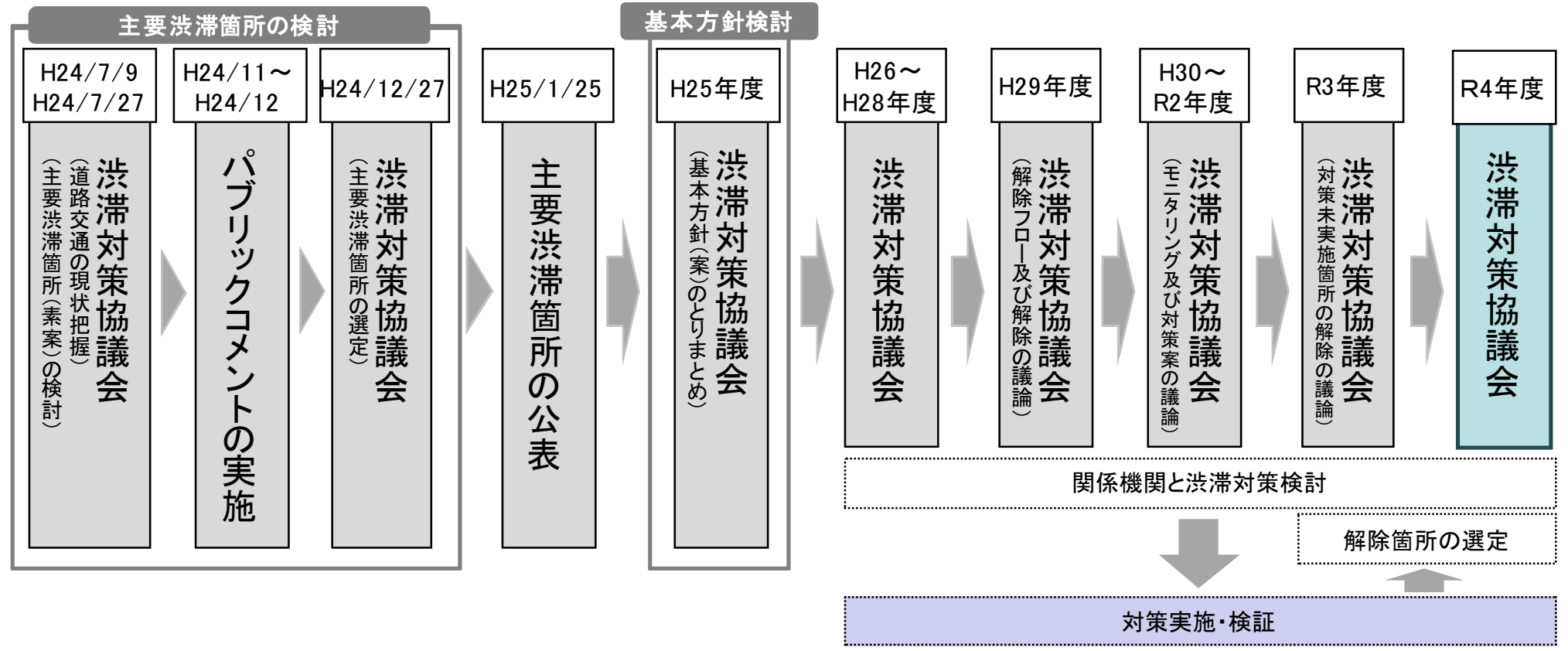
これまでの経緯 【渋滞対策協議会のこれまでの流れ】

渋滞対策の方針

- 「今後の高速道路のあり方 中間とりまとめ(高速道路のあり方検討有識者委員会、平成23年12月)」において、効率性を阻害する渋滞ボトルネック対策の重要性が指摘されたこと
- 社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会においても、渋滞対策を含め、道路利用の適正化が議論されていること
- 民間プローブデータが容易に取得可能となるなど、観測環境に大きな改善が見られること

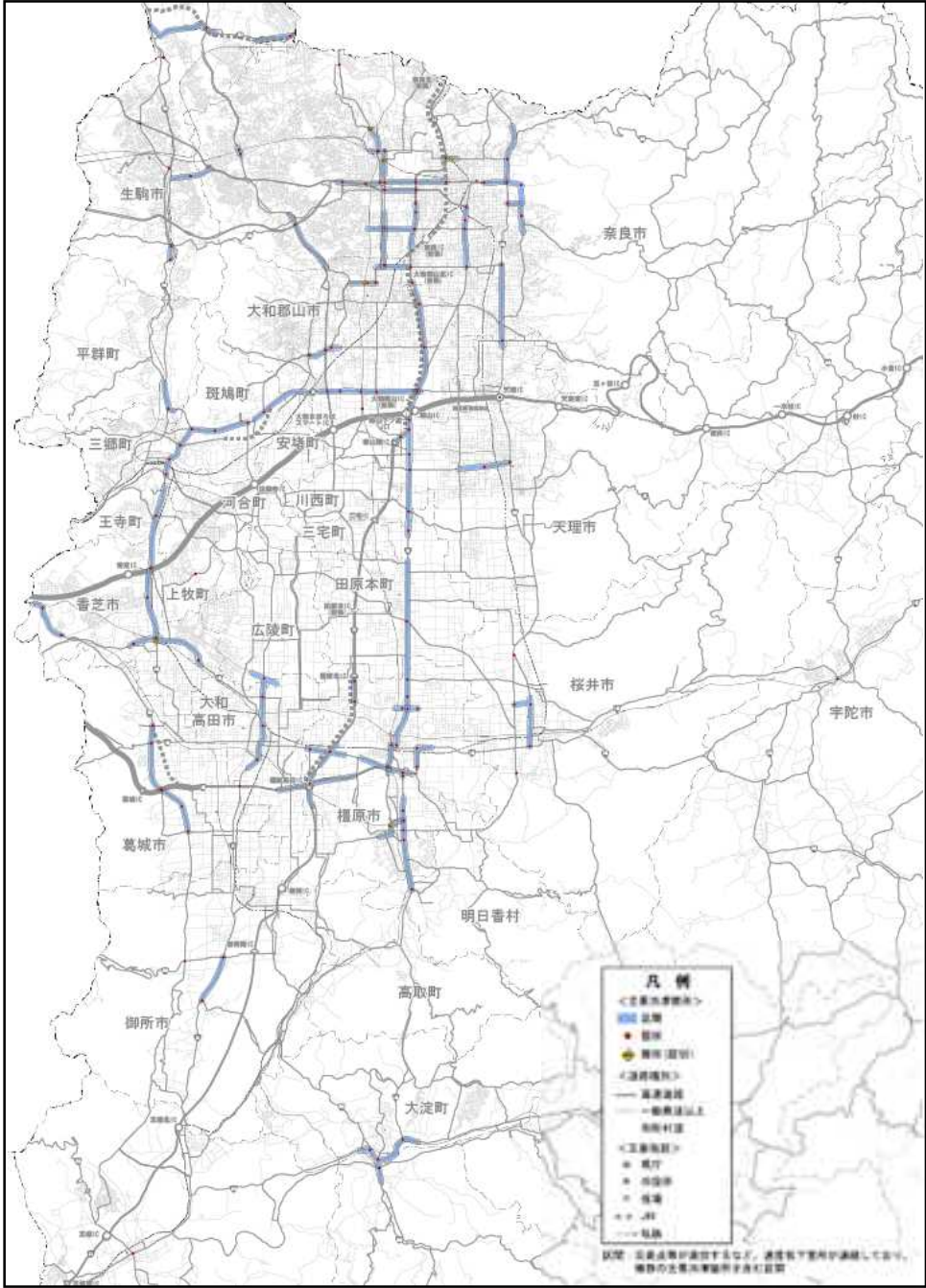
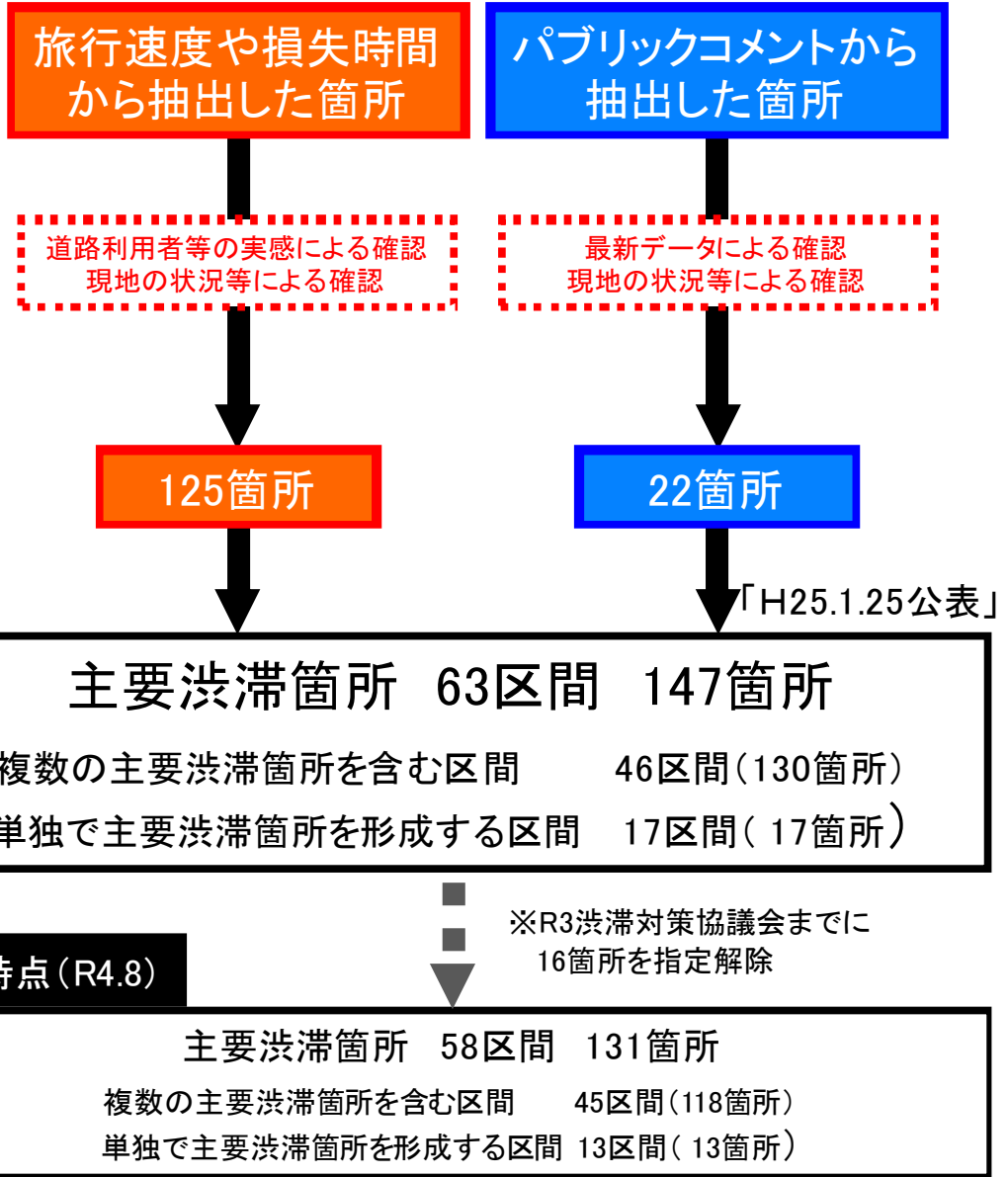
課題の状況を継続的に把握・共有するとともに、
新たな交通観測データの分析等により効果的な渋滞対策の推進に取り組む

渋滞対策の検討経緯



平成24年度の検討内容【主要渋滞箇所の選定】

〈主要渋滞箇所の選定フロー〉

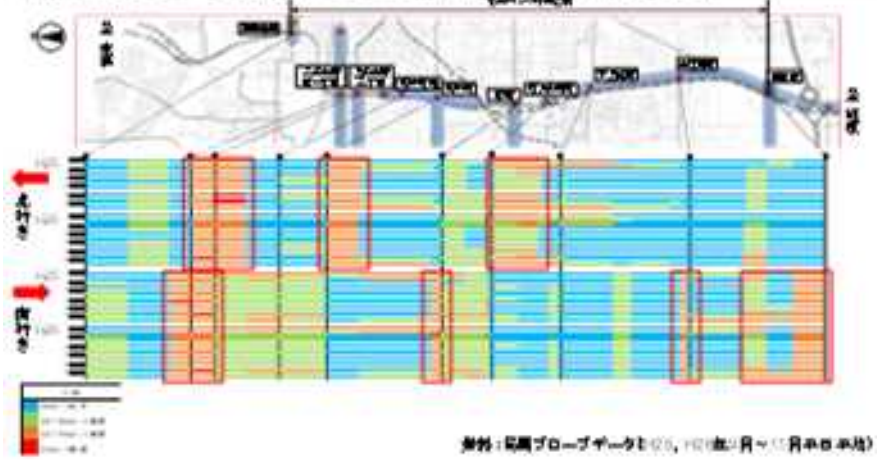


平成26～令和3年度の検討内容【主要渋滞箇所への対策検討】

交通ビッグデータを活用した検討

民間プローブデータを活用し、主要渋滞箇所周辺の速度状況を把握・分析した

北行き・南行きともに、49%は北と南で速度状況に大きな変化は見られない。
 北行きでは、三条大路南一丁目、三条大路二丁目、新木町交差点付近で速度低下が発生し、西入交差点交差点で顕著に低下している。
 南行きでは、東田町、大沢町南、赤町、三条大路二丁目、三条大路南一丁目交差点付近で速度低下が発生しており、朝峰合流点において北行き・三条大路南一丁目交差点までの区間で速度低下が発生している。



交通実態調査を活用した検討

交通実態調査結果や現地状況確認結果をもとに渋滞要因を分析し、主要渋滞箇所への対策案を検討した

三条大路2丁目交差点

【課題】
 ・道路幅員により後続の直進車線に影響が出ている。
 ・右折車線が多い場合は、右折車線が直進車線まで伸びることにより、直進車線に影響が出ている。

【対策案】
 ・直進車線と右折車線の間に左折レーン（仮設）を設置し、右折車線の幅員を確保する。

【効果】
 ・直進車線と右折車線の間に左折レーン（仮設）を設置し、右折車線の幅員を確保することにより、直進車線に影響が出ている。

新木町交差点

【課題】
 ・北行き・南行きともに、直進車線と右折車線の間に左折レーン（仮設）を設置し、右折車線の幅員を確保することにより、直進車線に影響が出ている。

【対策案】
 ・直進車線と右折車線の間に左折レーン（仮設）を設置し、右折車線の幅員を確保する。

【効果】
 ・直進車線と右折車線の間に左折レーン（仮設）を設置し、右折車線の幅員を確保することにより、直進車線に影響が出ている。

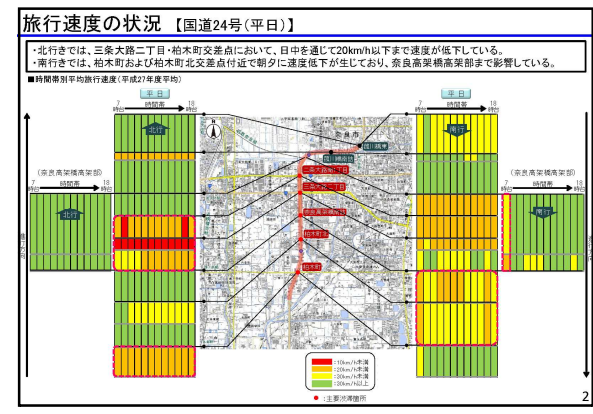
地域専門部会の開催

担当者による地域専門部会を開催し、奈良市域・橿原市域・西和地区における主要渋滞箇所等の対策案の検討等を実施した

西和地区における道路整備状況

今後、道路バリアの整備や奈良県の道路事業進捗により、西和地区における交通流動や渋滞状況の変化が見込まれる。
 ・特に、三条交差点～本町1丁目交差点間については、沿道開発が進んでおり、更に前後の区間で道路バリアや主要道路等が整備が進むことで、更なる交通集中が懸念される。

■国道25号の断面交通量および混雑度
 平日12時間交通量 165万台(12h)
 平日24時間交通量 236万台(24h)
 混雑度 1.80
 (※平成27年度道路交通センサスより)



奈良県の対策スケジュール(案)

土橋町交差点(東西)左折レーン設置

- ◆H29年度
 - ・4月 東西方向左折レーン設置の新規事業化
 - ・8月 土橋町総代に事業内容について説明
 - ・9月～関係地権者等に個別に説明を実施
- ◆H30年度
 - ・詳細設計、地元設計協議、用地測量、補償調査等を随時進めていく予定

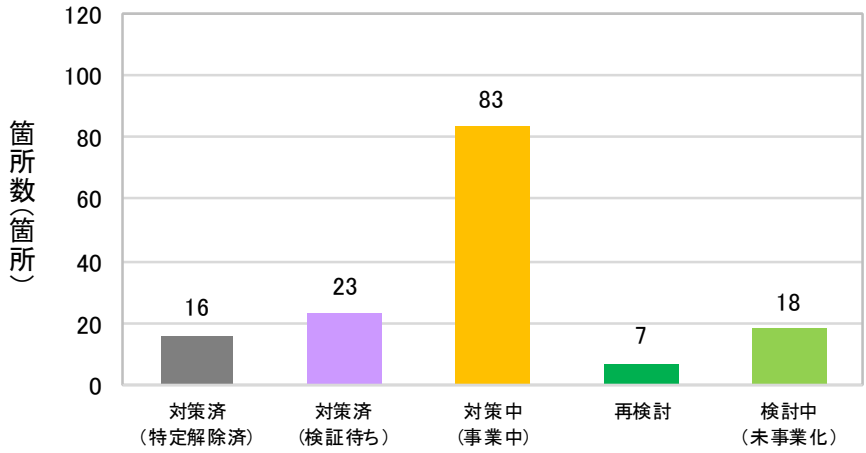
葛木町交差点(東西)左折レーン設置

- ◆H29年度
 - ・現在、来年度新規事業化に向け検討中
- ◆H30年度(事業化した場合)
 - ・詳細設計、地元設計協議、用地測量等を随時進めていく予定
 - ※事業には、橿原市土地公社の土地があるため、橿原市との調整も実施

令和3年度末時点の主要渋滞箇所への対策進捗状況

主要渋滞箇所の渋滞を解消・緩和する対策の実施状況 (令和3年度末時点)

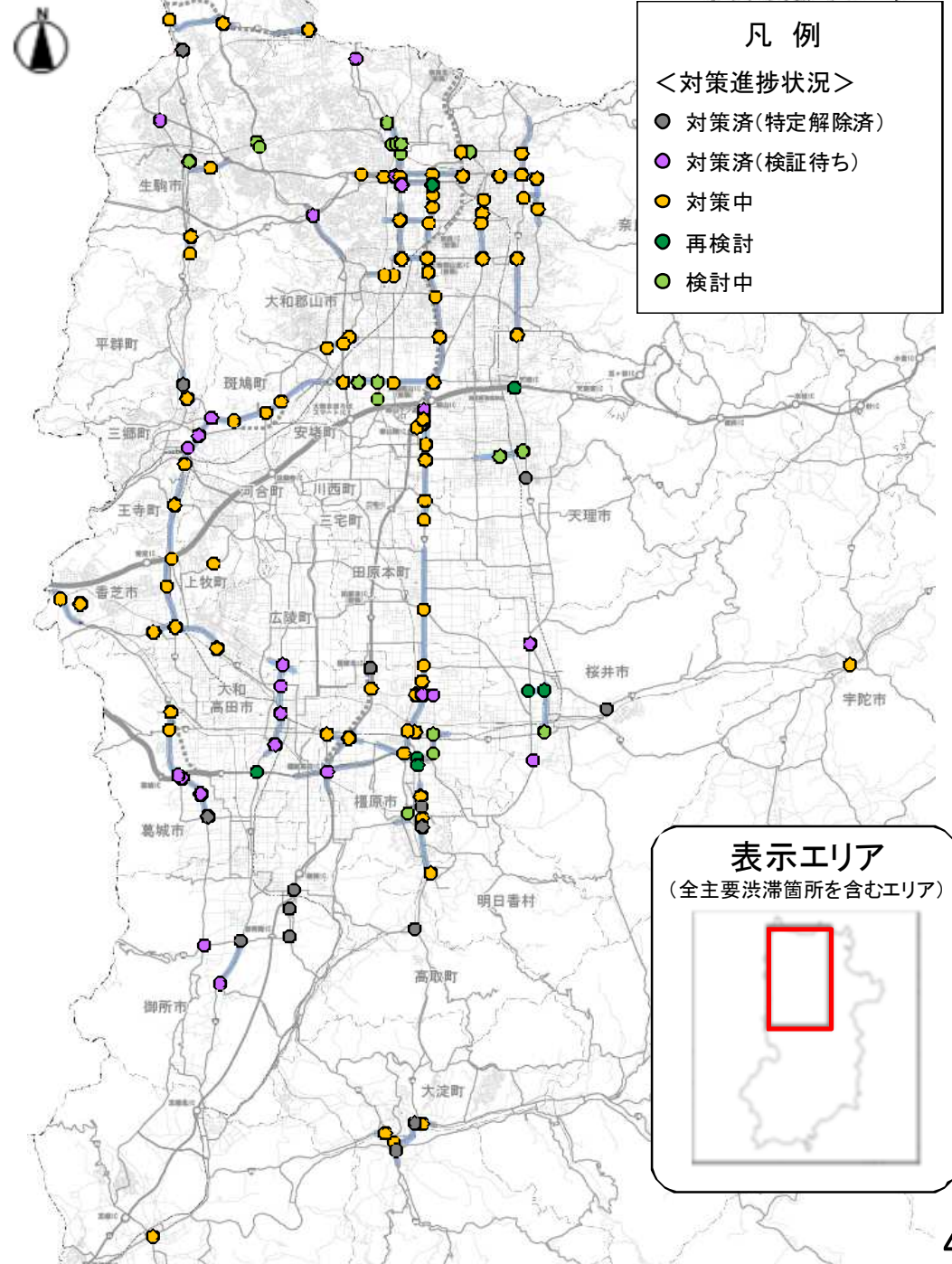
奈良県主要渋滞箇所数 : 131箇所



※対策済とした12箇所について主要渋滞箇所から解除
 : 協和橋東詰、中町中川、玉手、御所実業南、富田、慈恩寺北、下土佐、勾田町、土田西、南田原バイパス中、室、小槻町、

※未対策であるが顕著な渋滞が見られない4箇所について主要渋滞箇所から解除
 : 葛城山麓公園入口、栄和町、見瀬北、千石橋南詰
 →主要渋滞箇所数が147箇所から131箇所に

※対策実施後の検証待ち箇所23箇所
 (対策後2年目以降の検証待ち箇所: 19箇所)
 : 南六条、三条大路5丁目、太田南、王寺跨線橋北、安部木材団地5号、砂茶屋橋東詰、葛本町東、生駒IC(北)、大塚、中戸、尼ヶ辻橋西詰、神楽、内本町、三倉堂南、小殿北、箸中南、名柄、三室、竜田大橋
 (対策後1年以内の検証待ち箇所: 4箇所)
 : 新堂ランプ(R3.9供用)、神功5丁目(R3.11供用)、葛本町(R4.3供用)、中戸鈴原(R4.3供用)



凡例

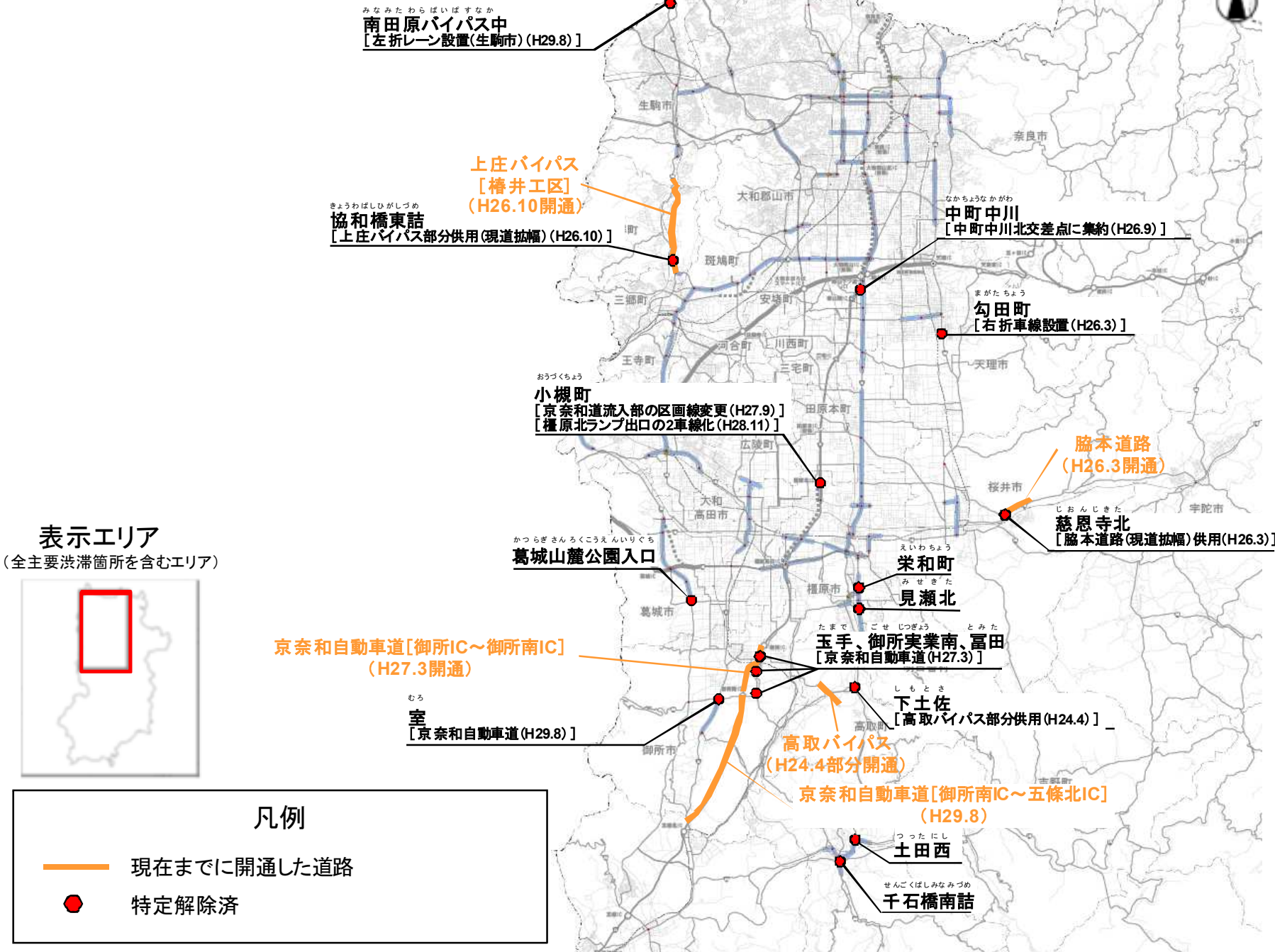
<対策進捗状況>

- 対策済(特定解除済)
- 対策済(検証待ち)
- 対策中
- 再検討
- 検討中

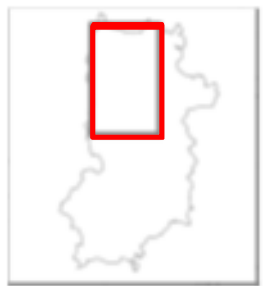
表示エリア
 (全主要渋滞箇所を含むエリア)

令和3年度末時点の主要渋滞箇所への対策進捗状況

【参考】特定解除済(16箇所)の位置図



表示エリア
(全主要渋滞箇所を含むエリア)



凡例

- 現在までに開通した道路
- 特定解除済